

SHIMA SEIKI



ニットの博物館

FUSION MUSEUM

世界最速の横編機をはじめ、世界で最初の靴下編機など、数々の編み機が皆様をお迎えます。

FUSION MUSEUM

入場無料

フュージョンミュージアム

場 所 和歌山市本町2丁目1番地フォルテワジマ3階
開館時間 あさ10:00~よる7:00(入館受付は6:30まで)
休 館 日 1月1日~3日



お問合せ TEL 073-488-1962

ものづくりのおもしろさを体感し、夢を育む

メリヤス編みを中心とするニット産業は和歌山市の地場産業のひとつであり、島精機製作所はこの地において横編機のリーディングカンパニーとして成長を続けてきました。

その歴史と文化を貴重な遺産として情報発信するとともに、未来を担う子供たちが機械の仕組みや歴史に触れることで『なぜか?』という気持ちを感じ、それをきっかけとして知恵に変え、創造力や知的探究心を引き出すことを目的に開設しました。

SHIMA SEIKI

展示ゾーンのご案内

手袋編機の歴史

手動編成から、全自動に至るまでの手袋編機開発の歴史を展示



デザインシステム

NASAから払い下げられたグラフィックボードをもとに開発したCGシステム等を展示



横編機

幻の「タイツ編機」からはじまり、シマセイキの横編機の歴史を語る展示



現代の横編機

最新のホールガーメント®横編機をニットサンプルとともに展示



機械の原理を知る

世界初の靴下編機や編み機の原理、ニットの素材などを紹介



部品展示

機能性に優れた様々な工夫を凝らした編み機等の部品を展示



宇宙・航空

宇宙船内服に採用されたホールガーメント®やはやぶさカプセルレプリカ、航空機模型などを展示



つながり

『世界の国々や企業、人とのつながりを大切に』というコンセプトのもと、幅広い作品等を展示



ホールガーメント®って?

ホールガーメント®とは、縫い目のないニットウェアのこと。一着まるごと立体的に編み上げるホールガーメント®は人に地球にやさしいニットです。



従来の製法

流し編み(カット&ソー)



カットロスと縫いしろロスが発生

成型編み



縫いしろロスが発生

ホールガーメント®



- 省資源ニット (カットロス、縫いしろロス=0)
- 美しいシルエット
- 優れた伸縮性
- 抜群の着心地とフィット感

WHOLEGARMENT およびホールガーメント®は株式会社島精機製作所の登録商標です

体験コーナー

オリジナルニットを編もう♪

手袋、ストール、クッションカバー、コースター



①デザインしよう!



②自転車をこいでニットを編もう!!



③オリジナルニット完成!

教室

アートクラブ

ものづくり教室

随時体験教室受付中

絵を描くこと、ものづくりの楽しさを体験することで、豊かな感性を身につけることをコンセプトとしたアートクラブ。専用のコンピュータを使って「世界にひとつ」のものづくりにチャレンジしよう!



1965年頃のシマセイキ

株式会社島精機製作所 <http://www.shimaseiki.co.jp>

和歌山市坂田85番地 Tel(073)471-0511(代)





1580 → 1950 → 1960 → 1970 → 1980 → 1990 → 2000 → 2010

ウィリアム・リー (イギリス)
足踏み式靴下編機 1589年

英国牧師、ウィリアム・リーが開発した最初の靴下編機。妻が家計を支えるために行っていた内職の編み物から解放しようと努力の末に完成したメリヤス工業史上で最も革命的な発明。世界中でオリジナルが数台しか残っていない貴重な編み機。
(展示機：1830年製マシンナンバー551号機)

島正博が高校生時代に開発したマシン

本体と手首を連続編みした手首無縫製手袋編機

鳥精機製作所創業当時の手袋編機と動力装置

長年の夢が実現された最初の全自動手袋編機

原点に立ち返り、徹夜を重ねて完成させた手袋編機

1 二重環かがりミシン
手袋本体と手首編み地を縫い合わせるミシン。

2 ゴム糸挿入装置付五指連続手袋編機
手首部にゴム糸を挿入し、さらに手袋本体と手首編み地の縫製の手間を省きました。

3 半自動動力装置付手袋編機
縦型にして従来の動力装置に対して、省スペース＆省労力を図りました。

4 全自動シームレス手袋編機 (初期型)
指先を丸く編むためのシンカーニット方式を発明しました。

5 角型全自動手袋編機
指先、指股のかがりと手首部のミシンかけ以外は全て自動編成。

日本機械学会認定 2017年度機械遺産

ニット生産分野のコンピュータ化を促進した横編機

シマトロニックジャカードコンピュータ制御横編機 SEC (1979)

SNCの機能に加え、編み地の多様性をさらに高め、内外の市場から絶賛されました。

エレクトロニクス化に第一歩を記した横編機

「性能は倍で価格は半額」という夢のような横編機。機能面では半日以上かかっていた柄による針の入れ替えを不要としました。

他社機の1,500万円に対し750万円で販売。

テープメイキングシステム TMS (1978)

シマトロニックジャカードコンピュータ制御横編機 SNC (1978)

コンピュータ制御横編機に柄組情報を指示するための紙テープ作成システム。

独ライプチヒ展で栄えあるゴールドメダル賞を受賞

全自動シマトロニックジャカード手袋編機 SJG (1975)

親指を手のひらの内側に自動的に編める画期的なファッション手袋編機。

手袋編成の完全自動化を実現した手袋編機

全自動シームレス手袋編機 SFG (1970)

手作業で行っていた指先と指又のかがりが不要となり、製造工程の短縮を実現。

機械の汚れがよく分かるオフホワイトの外装を備えた横編機

全自動セミフルファッション横編機 SF (1968)

ベルト駆動式により効率よく袖や身頃の成型編成を行う横編機。

新たな発想を30項目以上搭載した袴編機

全自動フルファッション袴編機 FAC (1967)

目減らしの袴を5分で編むことができ、その後に発表した海外メーカーの編み機は倍以上の時間がかかっていました。

シマセイキ初のデザインシステム

シマトロニックデザインシステム SDS-1000 (1981)

米航空宇宙局NASAから払い下げられたグラフィックボードを使って開発。

ニットの多品種少量生産への対応横編機

第二世代のコンピュータ横編機 SES (1988)

軽量・小型化による省スペース化を実現したSESシリーズ。

多業種で活躍した世界最高クラスのデザインシステム

マルチデザインシステム SDS-480SGX (ハイパーベント) (1988)

放送局、建築、印刷、自動車などのデザインに、国内外で幅広く採用されました。

1995年のミラノITMA展で「東洋のマジック」と大注目

完全無縫製型コンピュータ横編機 SWG (1995)

世界初の完全無縫製型横編機として、編み機400年余りの歴史を大きく塗り替える画期的な発明となった「ホールガーメント®横編機」。

小物編成に適したホールガーメント®横編機

ホールガーメント®横編機 SWG021/041 (2003)

小物から幼児ウェア、子供用ワンピース、タイツなどの編成に適しています。

3Dバーチャルシミュレーションに対応したデザインシステム

シマトロニックデザインシステム SDS-ONE APEX3 (2010)

企画側・生産側の双方でモノづくりの効率が飛躍的に向上します。

2015年のミラノITMA展に出展した最新鋭機

ホールガーメント®横編機 MACH2XS (2013)

4枚ベッドに可動型シンカーを搭載し、高品質なホールガーメント®製品を編成できます。